

別 紙

日建連表彰 2023 受賞一覧

The Winners of the JFCC Award 2023

第 64 回 BCS 賞【15 件】 / 第 4 回 土木賞【12 件】



一般社団法人 **日本建設業連合会**
JFCC JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

WITH HARAJUKU



所在地 東京都渋谷区
竣工日 2020年3月19日
建築主 NTT都市開発
設計者 竹中工務店
伊東豊雄建築設計事務所
施工者 竹中工務店

地域の回遊性を創出する立体的「パサージュ」

民間の再開発複合施設でありながら、原宿駅前通りと竹下通り側道に抜ける半外部の「パサージュ」の立体的な計画により、奥原宿を含めた地域全体の回遊性が飛躍的に向上し、街の骨格を多様で奥行きのあるものへと変えつつある。

Entô



所在地 島根県隠岐郡海士町
竣工日 2021年5月31日
建築主 海士町
設計者 マウントフジアーキテクツスタジオ
一級建築士事務所
施工者 前田建設工業
鴻池組

「ないものはない」島の未来を示唆するプリミティブな建築

ユネスコジオパーク認定の風光明媚な島の港に建つ美しいホテル。既存の一部と繋ぎつつ、特別な機械や装置に頼らず「自らを島の風土にフィットさせる」このミニマムに徹した空間は、CLTのシンプルな構成と合わせ、心地よさを演出している。

大阪梅田ツインタワーズ・サウス、及び周辺公共施設整備



所在地 大阪府大阪市
竣工日 2022年10月31日
建築主 阪神電気鉄道
阪急電鉄
設計者 日本設計
竹中工務店
UDS
阪急設計コンサルタント
施工者 竹中工務店
奥村組

六甲の緑を織り込んだ梅田のファサード

地下街のイメージが先行した梅田の駅前に、新しい顔ができた。アルミパネルに六甲由来の植物が織り込まれたファサードは、この駅前に新たな場所性を与えると同時に、計画全体としても足元の舗道空間の整備とも連動するなど、大阪に新たな都市の豊かさをもたらすものとなった。

大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟



所在地 大阪府箕面市
竣工日 2020年12月25日
建築主 国立大学法人大阪大学
設計者 日建設計
施工者 清水建設

未来へつむぐ地域交流グローバルキャンパス

「地域に生き世界に伸びる」という大学のモットーを具現化し、境界を消しまちに開かれたグローバルでサステイナブルなキャンパスである。繊維の街があった面影をアウトフレームブレースで表現することで、過去から未来をつむいでいる。

京都市美術館（京都市京セラ美術館）



所在地 京都府京都市
竣工日 2019年10月31日
建築主 京都市
設計者 AS
西澤徹夫建築事務所
松村組
昭和設計
施工者 松村組

可逆性を確保した歴史的建築物の「保存・再生」

京都の文教地区、岡崎公園に立地する昭和初期創建の建物を、単なる保存・改修の枠を越えて、新たに挿入した新館と重ね合わせて先鋭的な美術館へ生まれ変わらせた。また、回遊性を持った施設計画が、地域の魅力を最大限に引き出している。

シェルターインクルーシブプレイス コパル

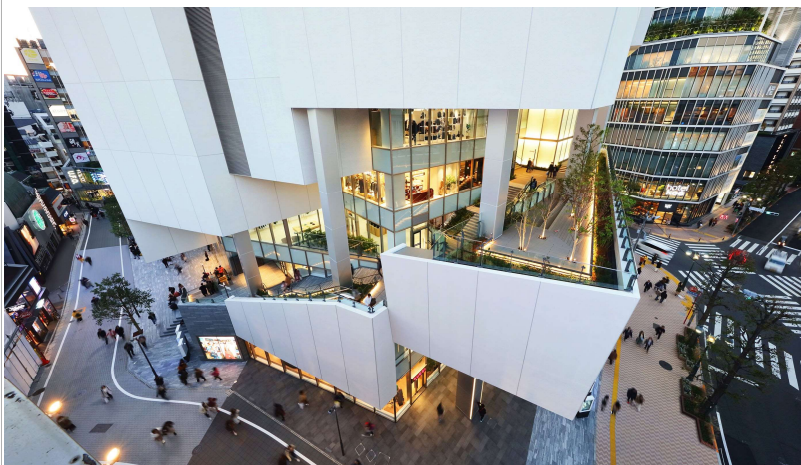


所在地 山形県山形市
竣工日 2022年3月24日
建築主 山形市
設計者 オープラスエイチー級建築士事務所
施工者 高木
シェルター

共生社会を実現する魅力的な子供の楽園

PFI手法を用いスタート段階から設計・運営・施工・維持管理のチームが一体となって作り上げた建築。公共施設とは思えない前向きなチームによる運営は、建築デザインを越えたインクルーシブな場を生み出している。

渋谷 パルコ・ヒューリックビル

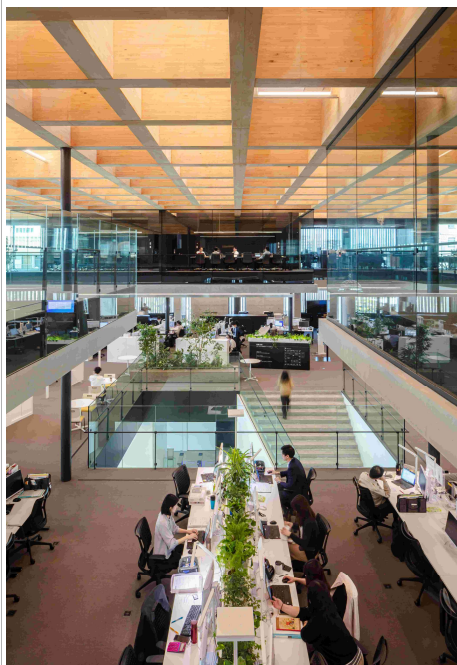


所在地 東京都渋谷区
竣工日 2019年10月31日
建築主 宇田川町14・15番地区第一種市街地
再開発事業 個人施行者 パルコ
設計者 竹中工務店
施工者 竹中工務店

渋谷文化の原点進化と賑わいネットワークを創出

渋谷駅周辺エリアが連携し賑わう街づくりに渋谷区・商店街と共に先駆けて取り組んだ次世代の文化育成と情報発信を担う複合商業施設。街区再編整備による貫通通路や建築外周部の立体街路が人の流れや街の賑わいを刺激している。

清水建設北陸支店新社屋

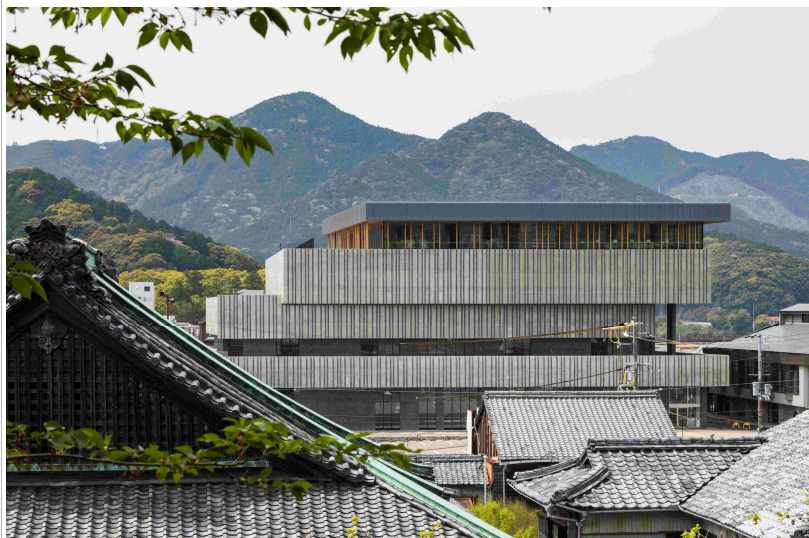


所在地 石川県金沢市
竣工日 2021年4月28日
建築主 清水建設
設計者 清水建設
施工者 清水建設

未来につながる超環境型オフィス

建築計画と構造計画が融合した外観および内部の吹き抜けが印象的。鉄骨格子梁の耐火木(能登ヒバ)には、設計・施工共に繊細な気遣いを感じられる。曇天の多い北陸地域に適用された水素エネルギーの利用技術は今後の環境問題への活用が大いに期待できる。

丹鶴ホール（新宮市文化複合施設）



所在地 和歌山県新宮市
竣工日 2021年7月31日
建築主 新宮市
設計者 山下設計
金嶋一級建築設計事務所
シアターワークショップ
NHKテクノロジーズ
プレイスメディア
施工者 村本建設
三和建設

地域を俯瞰・活動する場を積層させ熊野文化を体現

熊野の歴史・信仰・文化が層を成すように凝縮された敷地に、みんなが集まり活動する広場としてのホールと、地域を俯瞰する場としての図書館・熊野学センターを積層させ、熊野文化を体現する建築を実現している。

那覇文化芸術劇場 なは一と

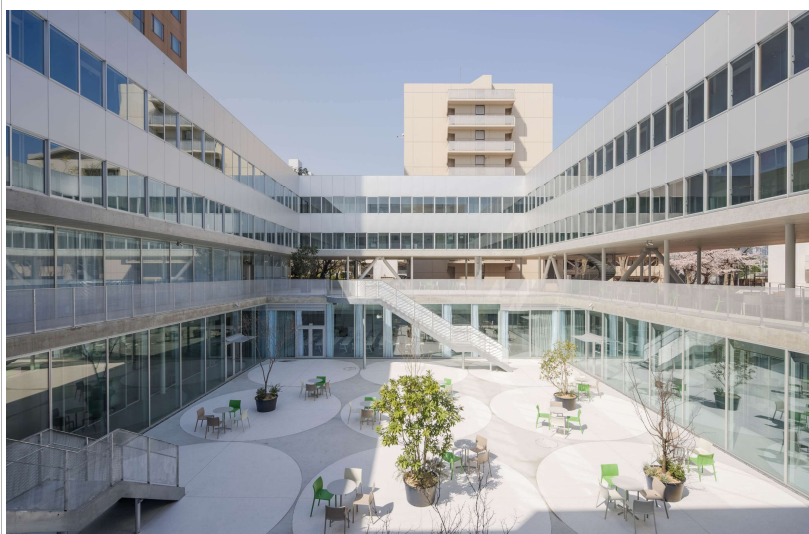


所在地 沖縄県那覇市
竣工日 2021年6月30日
建築主 那覇市
設計者 香山建築研究所
久米設計
根路銘設計
施工者 國場組
大米建設
金城キク建設
ニシダ工業

首里織りに懐かれた市民のウナーと劇場

国際通りに程近い中心市街地に立地し、住宅と商業施設が立て込む環境に、沖縄の伝統の表情を持ち、市民の日常的な空間となるウナー（ロビー）を包摂する劇場が建設された。観光客で溢れる一方で生活空間として空洞化しかねない中心市街地に、「なは一と」が創られた意味は大きい。

日本女子大学目白キャンパス再整備

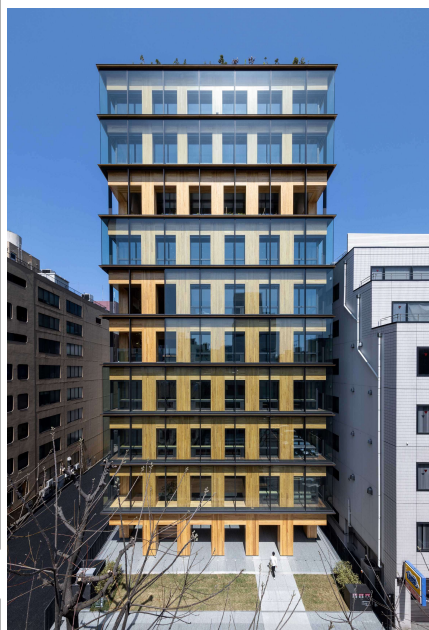


所在地 東京都文京区
竣工日 2019年3月15日
建築主 学校法人日本女子大学
設計者 妹島和世建築設計事務所
清水建設
佐々木睦朗構造計画研究所
施工者 清水建設

キャンパス全体を開放的な学習空間にする

創立120周年の目白キャンパス再整備計画である。開放的な建築計画は、キャンパス全体のラーニングコモン化を目指し、目白通りと不忍通りに面した青蘭館と杏彩館のアーチ屋根形状と、図書館、百二十年館に繰り返されるアーチ屋根形状は印象的なキャンパスファサードを創出している。

Port Plus



所在地 神奈川県横浜市
竣工日 2022年3月15日
建築主 大林組
設計者 大林組
施工者 大林組

日本初の純木造11階建て高層ビル

森林循環の活性化と炭素固定量の増大のため、地上部の構造部材全てを木造とした日本初の高層純木造耐火建築物の建設に果敢に挑戦し実現させたことは高く評価できる。耐火・耐震性能の実験検証、各部の納まりや施工の実大モックアップ検証など、数多くの技術開発により実現させた。

丸紅ビル



所在地 東京都千代田区

竣工日 2021年2月26日

建築主 丸紅

設計者 大成建設

施工者 大成建設

「つながり」が成長を生むワークプレイス

多様な「つながり」をキーワードに、社員代表のタスクフォースと設計・施工者が一体となって創り上げた新本社ビル。ユーザー要望と技術的・デザインのソリューションがハイレベルで融合。ワークプレイスはABWをベースにデザインされ、前面の皇居の景観を最大限に生かした潤いのある空間となっている。

ミチノテラス豊洲



所在地 東京都江東区

竣工日 2021年3月31日

建築主 清水建設

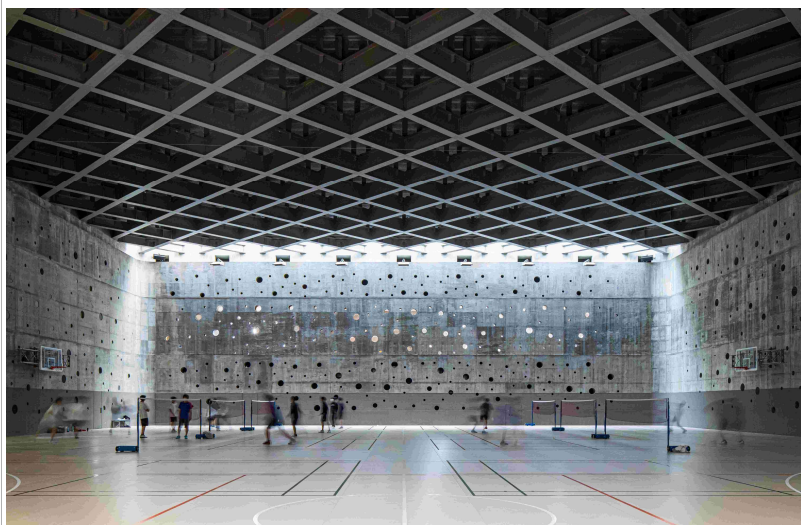
設計者 清水建設

施工者 清水建設

東京ベイエリアの新しい核

まちのようなオフィスとホテルに、駅と水際を結ぶデッキとバスターミナルが融合され、多様な都市スケールでの回遊性と拠点性を創出。国交省認定初の都市型道の駅として、海と緑の環境に調和する都市づくりを先導することが大いに期待される。

早稲田大学本庄高等学院 体育館



所在地 埼玉県本庄市

竣工日 2020年10月16日

建築主 学校法人早稲田大学

設計者 日建設計

施工者 戸田建設

強い存在感の建築表現と環境性能の両立

緑豊かな環境にあえて閉鎖系の建築を計画し外観に独特の存在感と印象的な内部空間性を創出している。外周ダブルウォール形式により建築デザインと環境機能の整合性も高い。均質でなく質感のある打放コンクリートとなっていて打放表現に対する執念を感じさせる。

赤谷3号砂防堰堤工事

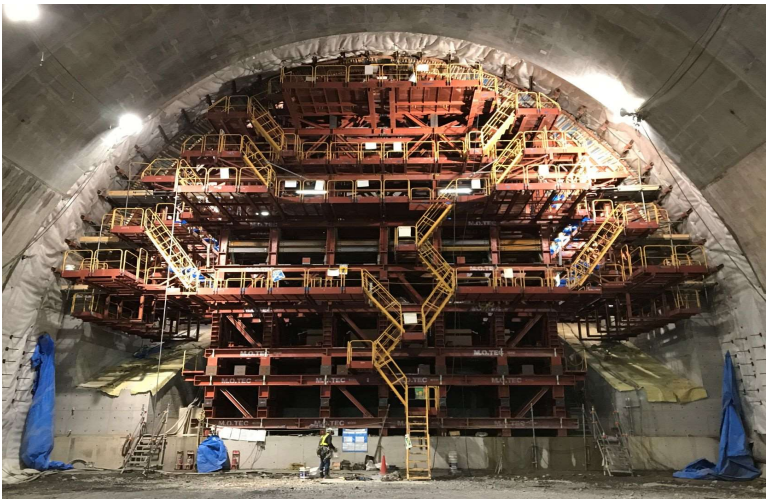


所在地 奈良県五條市
竣工日 2023年3月20日
発注者 国土交通省近畿地方整備局
紀伊山系砂防事務所
大規模土砂災害対策技術センター
設計者 エイト日本技術開発
協和設計
施工者 鹿島建設
関係者 富島建設
西尾レントオール
カジマメカトロエンジニアリング
大興物産
ランデス
フィールドテック
ニコン・トリンプル
NTJジオテックス

国内初となる災害現場における砂防堰堤自動化施工

戦後最大級の斜面崩壊が繰り返し発生する危険地区において、崩落斜面直下での砂防堰堤築造作業に高度な自動化施工技術を開発適用し、管制室からの遠隔管理で安全かつ効率的な施工を実現。出水期も安全に工事を進めることを可能とし、砂防事業の早期進捗を図り、下流住民の安全・安心の向上に大きく貢献した。

天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部建設工事（Ⅰ期～Ⅲ期）

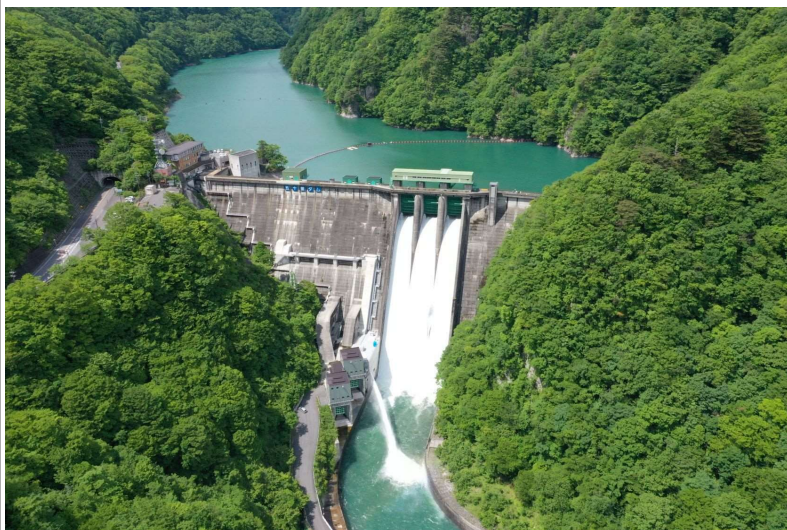


所在地 京都府宇治市
竣工日 2023年3月31日
発注者 国土交通省近畿地方整備局
設計者 大林組
飛島建設
施工者 大林組
飛島建設
関係者 吉田直土木
北陸鋼産
吉川組

困難な条件下における国内初の超大断面トンネル型減勢工の建設

ダムの放流能力を増強するためのトンネル式放流施設として、内空断面積500㎡、延長170mの減勢池を構築した。大規模空洞の掘削時に当初想定を超える破砕帯に遭遇したが、「RC円柱支保工」による側壁補強工を考案・採用することで安定性を確保し、かつ覆工施工において種々の斬新な技術を採用して国内初のトンネル型減勢工を実現した。

五十里ダム施設改良工事・五十里ダム取水放流設備新設工事

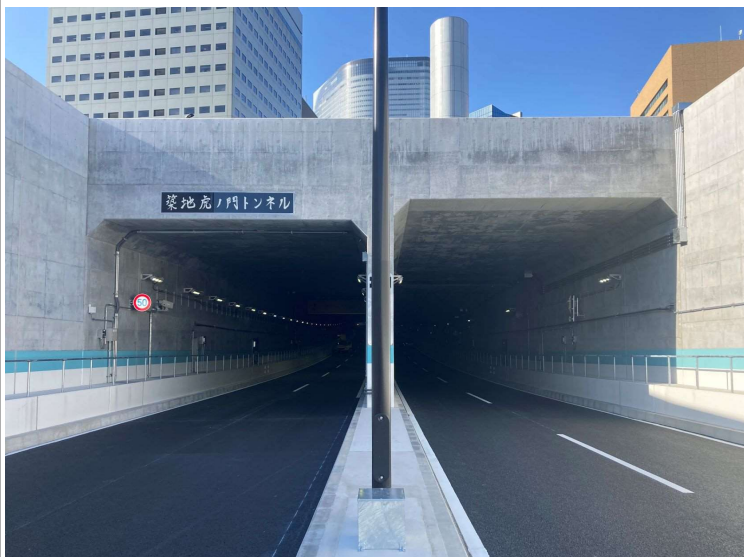


所在地 栃木県日光市
竣工日 2020年2月27日
発注者 国土交通省関東地方整備局
鬼怒川ダム統合管理事務所
設計者 日本工営
施工者 大成建設
豊国工業
関係者 西技計測コンサルタント
三沢工務店

今後のハイブリッドダムの取組みを促進する無振動ダム堤体削孔技術の開発

本工事は、築60年余の重力式ダムの選択取水設備及び発電施設の設置と利水放流設備の更新により、下流域における環境改善やダム管理電力確保の強化などを実現した。ダム堤体への影響を最小限にとどめる取水設備構造や削孔の工法を新たに開発して様々な制約条件を克服しており、今後のダム再開発事業の推進にも資する成果が得られている。

環2地下トンネル（仮称）及び築地換気所（仮称） ほか築造工事（27—環2築地工区）



所在地 東京都中央区
竣工日 2023年3月16日
発注者 東京都第一建設事務所
設計者 東京都第一建設事務所
施工者 大成・大日本・徳倉JV
関係者 成和リニューアルワークス
向井建設

高度に土地利用がされた東京都心での道路建設における施工面での様々な工夫

都心で行われる工事のため、路面覆工設置時に交通ネットワークの機能を維持し、地下30mを超える大深度の換気所掘削による近接構造物や既設下水幹線、埋蔵文化財に対する影響を抑えることが求められた。加えて、ディープ・ウェルによる地下水のヒ素、鉛、水銀等の有害成分を適切に除去して自然環境を保全することも求められた。これらの困難な施工条件を克服し、完成へと導かれた。

北大阪急行線の延伸事業のうち土木工事

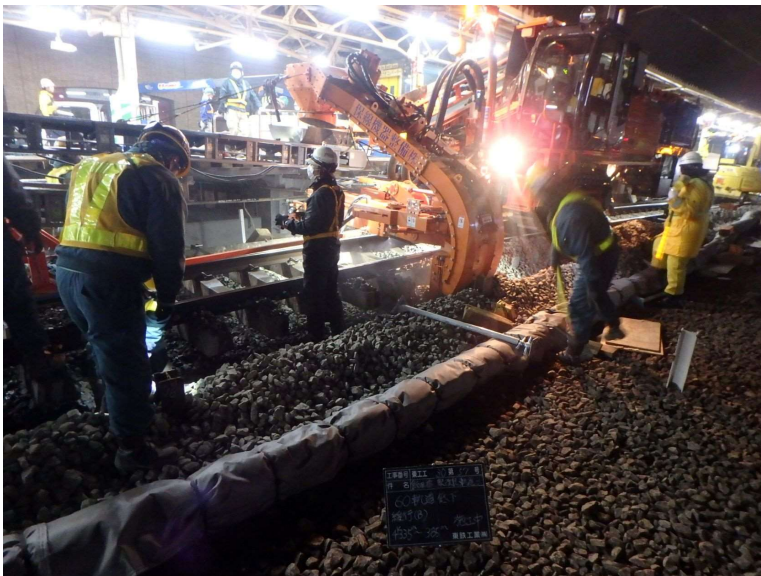


所在地 大阪府箕面市～豊中市
竣工日 2023年3月31日
発注者 北大阪急行電鉄
設計者 阪急設計コンサルタント
施工者 熊谷組・フジタ・森組 特定JV
関係者 精研
日特建設
地中空間開発
笹島建設
森川工務店

地上49階の高層マンションに超近接した支障物撤去とシールド掘進を住民合意形成のもと施工

鉄道新線の建設に伴うシールドトンネル直上の建築物に対し、掘進に伴う挙動のリアルタイム把握による厳しい施工管理、発注者、施工者、有識者で構成される委員会や構造照査・評価を行う第三者機関での情報共有を通じ地域住民と合意形成を図りながら施工を行った。その結果、建築物に影響を及ぼすことなくトンネル構築を完了した。

JR飯田橋駅ホーム移設事業

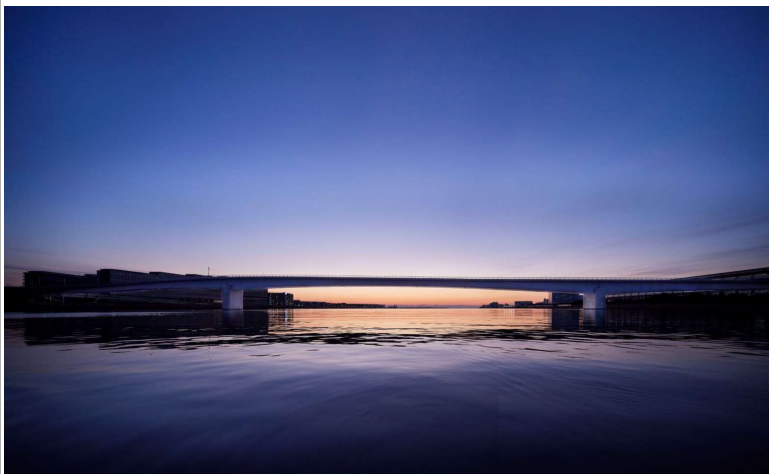


所在地 東京都千代田区
竣工日 2022年5月31日
発注者 東日本旅客鉄道
設計者 JR東日本コンサルタンツ
施工者 鉄建・前田JV
東鉄工業
関係者 大信工業
保線機器整備
オムテック
建研工業
第一カッター興業
タカタ
テッケン興産
ビッグ測量設計
向井建設
アント
オックスジャッキ

徹底した機械化による急速施工で安全性向上 「過去に例のない軌道低下・ホーム低下工事」

JR飯田橋駅のホームを移設し、ホームと列車の隙間や段差を解消するため、近接する史跡の位置や縦断勾配の制約のある中、軌道とホームを最大50cm以上低下させる前例のない工事。施工は夜間のわずか3時間に限られるため、軌道とホームは1日に8cmずつ、計99回に分けて低下させた。厳しい時間制約の中、機械化施工の全面的な導入で高精度の施工を実現した。

多摩川スカイブリッジ



所在地 神奈川県川崎市～東京都大田区
竣工日 2022年3月31日
発注者 川崎市建設緑政局広域道路整備室
東京都建設局
設計者/ 五洋・日立造船・不動テトラ・横
施工者 河・本間・高田JV
関係者 国立研究開発法人土木研究所
五栄土木横浜支店
大新土木東京営業所
パシフィックコンサルタンツ
鹿島道路横浜支店
トーヨーテクニカ
深田サルベージ建設横浜支店
磯部塗装
河川河口の環境アドバイザー会議
景観検討会
オリエンタルコンサルタンツ

国内最大の支間長を誇る橋梁

～空、橋、河川の三層が織りなす優雅な曲線とスレンダーなシルエット～

羽田空港近傍の多摩川河口部の両岸を繋ぐ橋梁及び道路を整備する工事。空港空域制限や船舶航行空間の確保などの制約下での自然環境や景観との調和が求められ、構造の工夫や様々な架設工法の併用により、複合ラーメン構造の橋としては、国内最大の中央支間長（240m）を有するスレンダーな橋梁の設置を実現した。

中央自動車道上田川橋の床版取替え



所在地 長野県下伊那郡阿智村～
岐阜県中津川市
竣工日 2021年3月15日
発注者 中日本高速道路
設計者 大林組
施工者 大林組・JFEエンジニアリング特定
JV
関係者 安部日鋼工業
ケイコン
川口組
コンクリートコーリング

オールプレキャストによるPC合成桁橋の床版取替え技術の開発と急速施工

PC合成桁橋の床版リニューアルにおいて、従来は、場所打ちコンクリートによる床版打換えが採用されていた。本工事は、新たに開発した「キャップスラブ」工法を含む複数のプレキャスト技術を活用することで、場所打ち箇所を無くしたオールプレキャストによるPC合成桁橋の床版取替工事であり、道路規制期間を大幅に短縮した国内初の取組みである。

北陸新幹線 福井開発高架橋建設プロジェクト



所在地	福井県福井市
竣工日	2021年7月5日
発注者	鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北陸新幹線建設局
設計者	日本交通技術
施工者	大林組・名工建設・道端組特定JV
関係者	鉄道総合技術研究所 大木建設 ケイコン 日本カイザー 壺山建設 マルチビルダー 東京鉄鋼 藤井組

国内初のフルプレキャストによる鉄道ラーメン高架橋の急速施工

一年半の遅れの起工と狭隘な施工ヤードでの鉄道高架橋建設という課題に対応し、特殊なプレキャスト部材を用い、大幅な工期短縮が図れるLRV工法を採用した。先行して実施された技術開発によって、同工法が鉄道ラーメン高架橋に適用可能となり、適切なプロジェクト管理と3次元計測等、新技術導入によりさらなる工期短縮を進め、予定期限内に無事故でプロジェクトを完遂した。

陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務



所在地	岩手県陸前高田市
竣工日	2021年2月28日
発注者	陸前高田市
設計者/ 施工者	清水建設・西松建設・青木あすな ろ建設・オリエンタルコンサル タnts・国際航業陸前高田市震災復 興事業JV
関係者	都市再生機構 東北震災復興支援 本部

土砂運搬専用吊り橋により工程を大幅に短縮した大規模土工事

早期に高台移転を実現し復興まちづくりを行うことが求められた陸前高田市の震災復興事業である。事業主、発注者、受注者の三者が連携し土工量1000万 m^3 を超える敷地面積300haの大規模土工事にCM方式、ファストトラック方式を採用し、仮設吊り橋を用いたベルトコンベヤによる土砂運搬やICTを活用した急速施工により早期の整備を実現した。

廣野ゴルフ倶楽部コース改修工事

(特別賞)



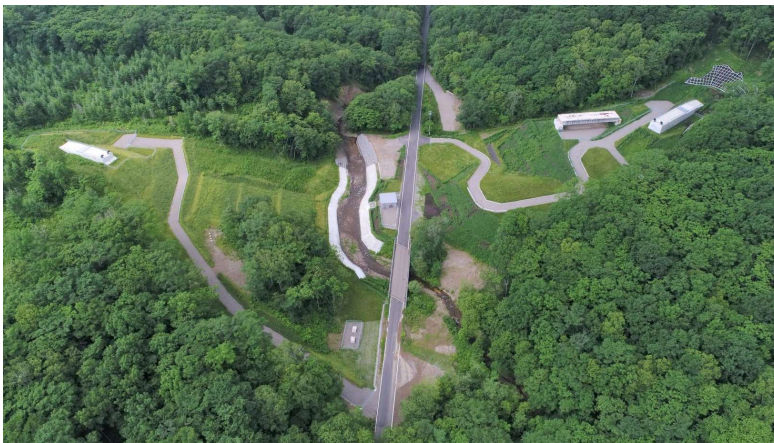
所在地 兵庫県三木市
竣工日 2019年9月30日
発注者 廣野ゴルフ倶楽部
設計者 MACKENZIE&EBERT
施工者 竹中土木
関係者 古賀ゴルフ・クラブ
MACKENZIE&EBERT
タニインターナショナル
ニホンターフメンテナンス
ゴルフ場用品

名門ゴルフ場を90年前の美しい原形へ復元する ー英国人設計者とともに歩んだ9か月ー

名門ゴルフ倶楽部を90年前の美しい原型に復元させるプロジェクト。時間制約の中、英国人設計者の頭の中のみにある完成イメージを関係者間でいかに共有し、具体化するのかが。徹底したコミュニケーションとチームワークによりゴルフ倶楽部は再生した。数値化できない造形美の復元はまさに芸術作品であり、土木の世界に新風を吹き込んだ。

芽登第二発電所 導水路改造プロジェクト

(特別賞)



所在地 北海道足寄郡足寄町
竣工日 2022年7月29日
発注者 電源開発水力発電部東日本支店上士幌電力所
設計者 電源開発土木建築部土木技術室
施工者 奥村組・J-POWERハイテックJV
関係者 萩原建設工業
日立造船
ノーベル技研工業

前例のない発破方法により極寒地の日本最古級PC水路橋を解体！ 電力インフラの導水路を更新

発電所の導水路の一部であるPC水路橋の更新事業において、先行して土中埋設型逆サイフォン水路に付け替えた後、既設橋を発破工法で解体した、国内では前例のない取組である。また、土木学会に小委員会を立ち上げ、供用60年を超える黎明期のPC橋の調査を進めるとともに、桁の一部は「選奨土木遺産」に登録して現地で供覧している。